

空き家バンク事業 21年度末の立ち上げへ

問 検討を進めている空き家バンク事業の進捗よく状況は。

答 空き家バンク事業は、民間の空き家情報を集め、市のホームページや広報紙等で市内外に情報提供する事業だ。

子育て世帯や一人住まいの高齢者など、さまざまな理由から住居探しが困難と思われる方の入居支援や空き家状況の解消にも有効な施策であり、平成21年度末をめぐり岡山県や社団法人岡山県宅地建物取引業協会などと連携して立ち上げる考えだ。

バス路線廃止地域の公共交通

問 バス路線廃止地域の公共交通に関する岡山市独自の取り組みは。

答 バス路線が廃止され、公共交通手段が無くなる地域での交通手段の確保策は道路運送法に基づき設置される「地域公共交通会議」で協議することとなる。

市が設置するこの会議は、学識経験者、利用者代表、バス・タクシー事業者、関係行政機関などで構成され、地域の需要に応じた生活に必要な交通手段や、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を具体的に協議する。

ファミリーサポート事業の充実

問 利用件数の増加理由と、今後の提供会員の確保対策は。

答 夫婦共働きの増加、核家族化などで、保育園・幼稚園の送迎とその後の預かり、放課後の

※ファミリーサポート事業

子育ての応援をしてほしい人(依頼会員)と応援したい人(提供会員)が相互援助活動を行う仕組み

児童の預かりなどのニーズが増えていることや、これまでのさまざまな広報活動が功を奏したことが利用件数の増加につながっていると考えられる。

現状では、人口増加地域で提供会員が不足する傾向にあるので、提供会員の拡大のために、養成講座を開催するなど、さらなる充実を図りたい。

暮らし・選挙・行財政

東山斎場の建て替え計画

問 東山斎場の建て替え計画はどこまで進展しているのか。

答 建て替え計画については、平成10年度基本計画の策定に先立ち、基本構想検討業務委託を発注していたが、当時の計画が実態と合わなくなっており、将来を見据えた岡山市全体の斎場のあり方について、現在、内部で再検討作業を進めている。

一方、利便性向上のため、斎場へ向かう市道東山・平井線の拡幅に向け、用地の取得と墓地の移転を実施しており、21年度は道路の一部改良に着手する。

月1日以後の建築物の確認申請または開発行為の許可申請から適用する。

政令市移行後の期日前投票所

問 先の衆議院選挙で、従前のように一つの施設で全区の期日前投票ができなかったのはなぜか。

答 市役所内に4区役所分の21投票箱、小選挙区・比例区・国民審査に必要な記載台、名簿対照、投票用紙交付、投票管理者・同立会人席のほか、期日前投票宣誓書記載台のスペースが必要で、さらに選挙人が混乱なく動ける広大なスペースが必要となる。

区ごとに階を分ける方法も考えられたが、保守管理の問題や選挙人の投票所への適切な誘導方法など解決すべき問題が多か



将来を見据えた斎場整備へ ～東山斎場～

共同住宅等のごみステーション設置基準の変更

問 20戸以上の共同住宅等を建設する者はごみステーションを設置しなければならないが、その基準をどう変更するのか。

答 不適正排出を防止し、まちの美化推進を図るため、現在の「20戸以上」の設置基準を「8戸以上」に変更し、平成22年4

った。

視覚障害者への選挙情報 次回市議選から提供へ

問 市の広報紙は視覚障害者に点字版や音訳テープの配布をしている。選挙公報についても同様の措置を取るべきでは。

答 選挙公報は、候補者が掲載文の申請をしたときは、その掲